

二 勤績手考改正ハ時期ヲ見テ善処ス

三 年々回定期賞典ハ祝儀ヲ含メテ支給ス

四 従業員死亡ノ場合ハ昭和七年五月ノ覺書ニ據リテ全従業員ニ適用ス

五 痲氣欠勤ノ場合ハ前覺書通りノコト

六 公傷ノ場合ハ月給及治療費ノ全額ヲ支給ス

七 全従業員中薄給者ニシテ特ニ昇給ノ必要アリト認ムル者ハ双方調査ノ結果ニ依リ之レヲ実施ス

八 女給ノ被服費一切ハ會社側ニ於テ全額負担ス

九 衛生設備ハ完備ス

十 兵役召集ノ場合ハ九、如ク定ム

一 予備後備兵時ノ場合ハ給料全額支給ス

二 現役召集ノ場合ハ退取ノ規定ニ従ヒ係保后再ビ採用ス

三 戦時召集ノ場合ハ最初ニケ月間ハ給料ノ全額ヲ支給シ又ニ

次ノニケ月間ハ給料ノ半額ヲ支給ス

四 鏡改築ニ依ル休館中ノ給料ハ全額支給ス

五 定員補充ノ臨時在ハ二月ノラスト期間ヲ経テ之ヲ本産トス

六 公休ノ場合ハ必要ニ應ジテ之ヲ補充シ費用ハ會社側ニシテ全額負担ス

七 夏期休暇ハ五日間以上トス

八 日給ハ月給割ニ改ム

九 但シ其ノ計算ハ日給ノ十二分三百六十五日トス

十 十二時止ノ残業ノ場合ハ館主任ノ協議ニ依リ五十元以內ノ交通費ヲ支給ス

十一 手議中ノ給料ハ全額支給ス

十二 本等議ニ依ル犧牲者ヲ出サス

十三 本規定事項ハ全従業員ニ適用ス